

「にぎり仏」作ってみませんか



①



②



③

① 手で一握りできるくらいの粘土を円筒状にします。

② 粘土の片方が粘土握った親指と人差し指から2～3cm頭が出るようにして、ギュッと握ります。この出た部分がにぎり仏の顔になります。

③ 握った粘土の底の部分をトントンたたいて据わりをよくします。そして、指を押しつけて耳や鼻を作り、目や口を竹串で描いてみましょう。

いろいろな表情の「にぎり仏」



③うれしい顔、泣いた顔、大笑い、いろいろ表情の「にぎり仏」を作ってみましょう。

④このままでもいいのですが、乾燥させて素焼きにするといいですね。陶芸の窯がない場合は、枯れ葉や小枝などを積み上げて、その中にしっかり乾燥（2週間位）させたにぎり仏を入れて、火をつけ、野焼きにしても味があるものができます。



これは、友人の Natsumi Asami さんをイメージして作った「にぎり仏」です。こんな風に、お友達や知り合いを作ってみるのもおもしろい。